Society of Japan Science Teaching

のぼりおり表を使った授業づくり演習

川勝　博
HIROSHI　Kawakatsu
香川大学教育学部理科教育教室

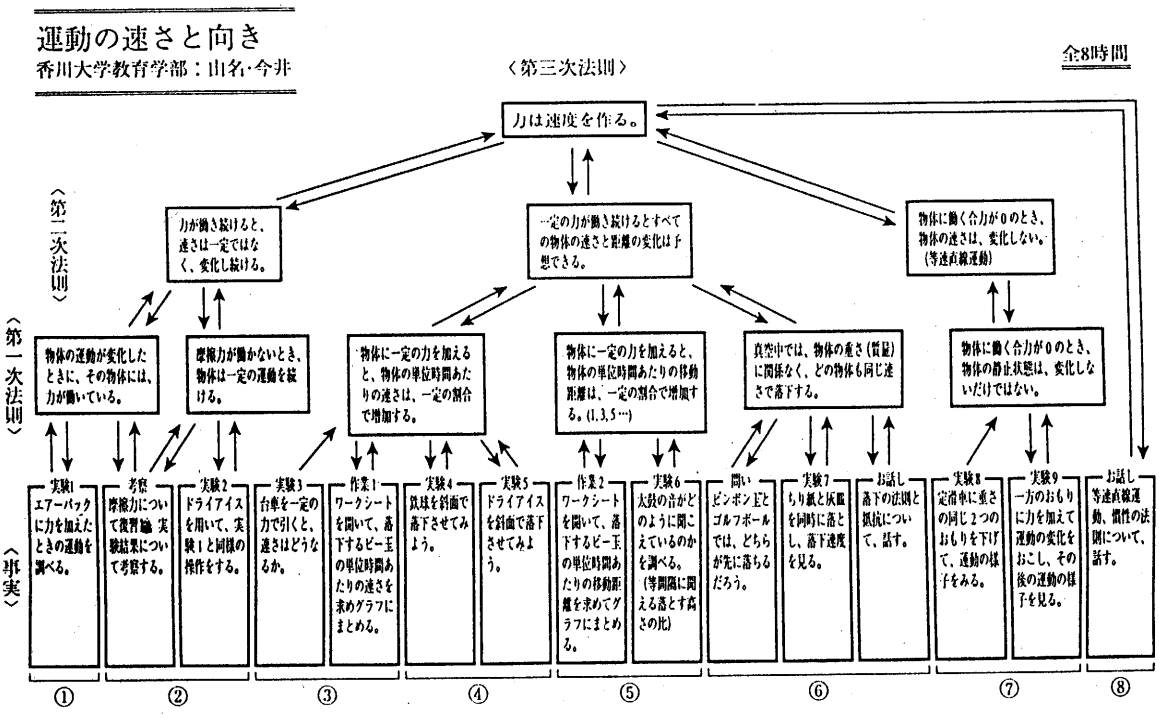
【キーワード】理科教育法、概念地図、単元案、帰納・演繹法

教員養成大学の授業作り演習をどのようにするか。その一つの方法を提起する。する。この授業案づくりの演習は、１時間の授業案づくりではなく、少なくとも６校時以上で、どのような法則、概念の形成を目指すかの単元案をつくりの演習である。

これには、教えるべき科学の内容についての深い理解と、生徒の理解につての科学的認識論、豊かな手作り実験の知識がいるから、理科教育の実践的な最終段階の力量を育てることができる。

この単元案づくりを、香川大学では、A3版１枚の、のぼりおり表と呼ばれる表（下図参照）を学生が、教科書と様々な先行実践記録と、生徒の科学する認識の筋道を考慮して作成する。

これを理科教育と専門領域の両教師と学生たちが共同で吟味し、よりよいものに仕上げる作業をする。その実際を報告する。



運動の速さと向き（のぼりおり表）.

NII-Electronic Library Service